

## 地域の里山を大切に 中原区市民健康の森を育てる会

### 中原区市民健康の森(通称:井田山)

中原区市民健康の森(通称、井田山)は、暮らしの中で実感できる緑の回復と創造に向けて、中原区役所道路公園センターとボランティア団体の中原区市民健康の森を育てる会(以降「育てる会」と略します)が協力して管理しています。

井田山は多摩丘陵の東端に位置し、面積約10,000㎡、海拔約33mで小規模ながら山頂部。斜面地、谷戸、小川等の変化に富んだ地形を有する中原区に残された貴重な緑地です。クスギ・コナラと雑木林とカシの森、山のふもとには小川や池があり、中原区に残っている最後の里山です。キンラン・ギンラン・春蘭・カタクリ・エビネ・ハンカチの木の花等が咲きます。



### 育てる会の主な活動

7月22日(日)、育てる会会長の縄島宏司さんから井田山の案内と育てる会の歴史や活動について伺いました。育てる会は2001(H13)年5月に設立し、中原区市民健康の森推進計画(中原区市民健康の森推進委員会、平成12年9月)に基づき、井田山の適切な自然の保全と管理をめざして毎月2回(日曜日)9:00から活動しています。主な活動は、「竹林の手入れ・里山研修・池の手入れ・下草刈り・花苗植え替え・遊歩道清掃・下草刈り(樹木の手入れ)作り」等です。また、地域の方の協力を得ながら「ホタル観賞会・井田山クリニック・矢上川クリーンアップ・バザー・どんぐり工作会・井田山の落ち葉かき・シイタケホダ木作り・冬鳥観察会」等工夫を凝らしたイベントを行い「地域の皆さんを大切に」をテーマに活動を続けています。会員は36名(平成30年7月現在)です。

縄島さんは、自分の住む地域に心豊かに暮らせる森があることをとても大事にしています。伐採した木を置いて、そこを棲み処にするクワガタ等を子どもたちが探せるように工夫していました。また、育てる会の活動をより市民に知ってもらうために、市政だよりに掲載したり



▲ 縄島宏司さん



▲ クワガタ等の巣となる木

健康の森の掲示板を利用したりしています。「トイレの設置」「電気を通すこと」「会員を増やすこと」等が課題だと話します。

5月27日(日)布ぞうり作り(井田病院内会議室)と6月3日(日)、池の手入れをしました。水漏れの場所の泥を除去してからサイドに鋼板を埋め込みアンカーにて留めました。



▲ 里山研修(ぞうり作り)



▲ 池の手入れ

### 地域住民との親睦を深めるイベント

育てる会は、地域の方を大切にしたいイベントをたくさん行っ



▲ ホタル観賞用のネット小屋

ています。井田山は、清水が湧くためホタルの餌になるカワニナがよく育つので、毎年6月に「ホタル観賞会」を開催しています。5月24日、ホタル小屋(観賞用のネットの中にホタル

を放流して観賞する小屋)の設置、6月1日は「仮設駐輪場作り」「危険防止のロープ張り」「誘導灯の設置」等を行いました。観賞当日(6月1日~3日)は、自転車の誘導整理整頓やバス通りに面しているので歩行者の交通整理や安全誘導に携わりました。3日間で3,600名が参加し、盛会裏に無事終了することができました。

また「落ち葉かき」には近隣の親子たちが大勢参加し、集めた落ち葉を仮設のプールに運び、プールが満杯になるとプールに飛び込む、大人気のイベントです。育てる会の会員が豚汁等をふるまっておもてなしをしています。



▲ 落ち葉かきのプール

他にも、井田山からのめぐみとして「梅の収穫、タケノコ堀、栗拾い」等があり、近隣の農家の方と協力して一緒にバザーを行い、地域住民との親睦を図っています。「どんぐり工作会」や「シイタケのホダ木作り」は近隣の親子が大勢参加しており、毎年楽しみにしている行事です。さらに、近隣を流れる「矢上川のクリーンアップ」活動では、河川の中の空き缶・ペットボトル・ビニール傘等を分別して回収しています。育てる会のみなさんは、地域の環境保全についても配慮しています。

■ 問合せ 縄島 宏司さん TEL 044-766-0855